



博愛記念碑(宮古島市)

■陸上に残る座礁の証拠

船の沈没を示す証拠は海底ばかりではありません。陸上にも難船や座礁を伝える石碑などが残されています。



石切場跡(恩納村)

■民俗文化財

海底に没する文化財として、魚垣や石切場などがあります。これらも水中にある文化的な財産です。

解説

水中文化遺産とは、水中に残された人間の営みの痕跡の総称です。それは海上を航行した船、あるいは船の積荷が沈んだものや、陸上にある遺跡そのものが天変地異によって没したもの、または漁業活動や港などとして海に構築された遺跡など様々な種類があります。

海に残された歴史のカケラを拾い集めて、公開することで、私たちと海との関わりを再確認することができると思います。

情報提供のお願い

水中文化遺産、特に沈没船や海に沈んだ焼き物などは、底引き漁や潜水漁などの漁業、ダイビングなどの潜水活動で偶然発見されることがほとんどです。

もし、海から遺物が引き揚げられたり、あるいは海底で遺物を発見したり、海岸で漂着した焼き物を拾った場合は是非ご一報いただければ幸いです。

事業の概要

南西諸島は東洋のガラパゴスとも呼ばれ、豊かな自然に育まれた美しい海に抱かれています。この海を介して古代から現代まで、人と海は深いつながりをもっています。人と海の間にはネイチャーツアーや海洋資源の開発利用がありますが、海に残された文化遺産については破壊されているのが現状であります。そこで、南西諸島の海底に存在する多くの文化的財産に関する情報を整備し、水中文化遺産の関心を高めることが課題となっています。南西諸島水中文化遺産研究会では、南西諸島の文化遺産の保護と活用の充実のため様々な取り組みを計画しています。

水中文化遺産の調査

水中文化遺産を探す！

南西諸島水中文化遺産研究会では、南西諸島に所在する水中文化遺産のデータベースの作成を行っております。水中文化遺産には様々な種類がありますが、これらの種類や性格、位置や年代引き揚げられた遺物などの情報を収集して、南西諸島全体の水中文化遺産の情報を整理することを計画しています。

水中文化遺産から歴史を探る！

集められた遺跡の情報に基づいて、人々の活動の痕跡から、交易史や海域における歴史について研究を進めます。

海底遺跡ミュージアム

陸上の遺跡は公園整備が図られ、公開されています。海底にある遺跡についても遺跡の追った歴史や人と海との関わりについてグラスボートを利用したり、ダイバーの説明を受けながら誰でも見学することができるようになることが期待されます。

連絡先

NPO法人アジア水中考古学研究所

〒812-0041 福岡市博多区吉塚6丁目10番12-308号

TEL&FAX：092-611-4404

URL: <http://www.ariua.org>

南西諸島水中文化遺産研究会

〒905-0428 今帰仁村今泊3933番地(宮城着付)

E-mail: mn-bunkazai@woody.ocn.ne.jp

鹿児島大学法文学部 異文化交流論研究室

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-30

E-mail: watanabe-leh.kagoshima-u.ac.jp

助成団体：日本財団

写真提供：沖縄県立埋蔵文化財センター



このプロジェクトは日本財団の助成を受けて実施されます。



南西諸島の 水中文化遺産

～海に沈んだ歴史のかけら～



NPO法人アジア水中考古学研究所
南西諸島水中文化遺産研究会
鹿児島大学法文学部 異文化交流論研究室



碓石(宇検村)

■陸上に引き揚げられた海底の遺物

碓や船体あるいは積荷など、もともと海底にあったと思われる遺物が、引き揚げられ陸上で発見されることがあります。



▽洗浄後

△洗浄前



オーハ島沖海底遺物

■海揚げりの遺物

海から引き揚げられた遺物は、かつて往来した船舶の積荷や船員の道具がなんらかの事情で海に残されたものです。



エモンズ(古宇利島沖)

■戦跡

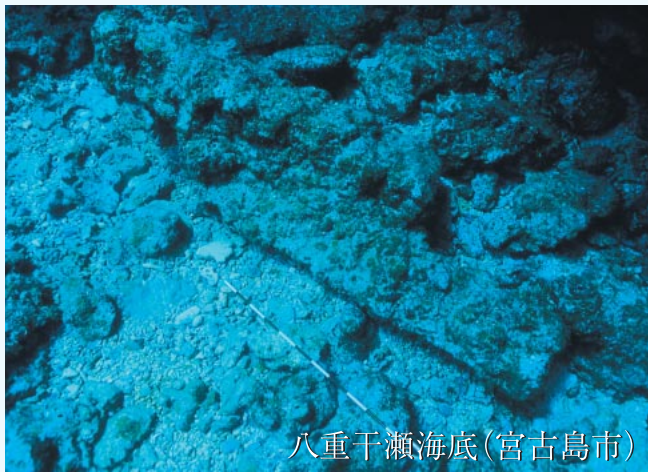
沖縄は日本で唯一の地上戦のあった地域として知られています。海域にも戦時中沈んだ船があります。



オーハ島沖海底(久米島町)

■三山時代の貿易

三山時代の貿易船の積荷が確認されました。貿易船は沈没したのでしょうか。積荷のみ捨てられたのでしょうか。



八重干瀬海底(宮古島市)

■プロビデンス号の積荷か？

近世琉球の時代に外国籍の船が多数南西諸島の海域に来訪、あるいは漂着しています。慣れない海域で座礁した船の中には大きな鉄塊などの積荷をのせた物もありました。



吉野海岸(宮古島市)

■異国船の往来

吉野海岸海底。異国船の積荷です。幕末・明治の南西諸島近海にはおびただしい量の異国船(黒船)が往来していたことを証明しています。



瀬底島沖海底(本部町)

■船の停泊を示すもの

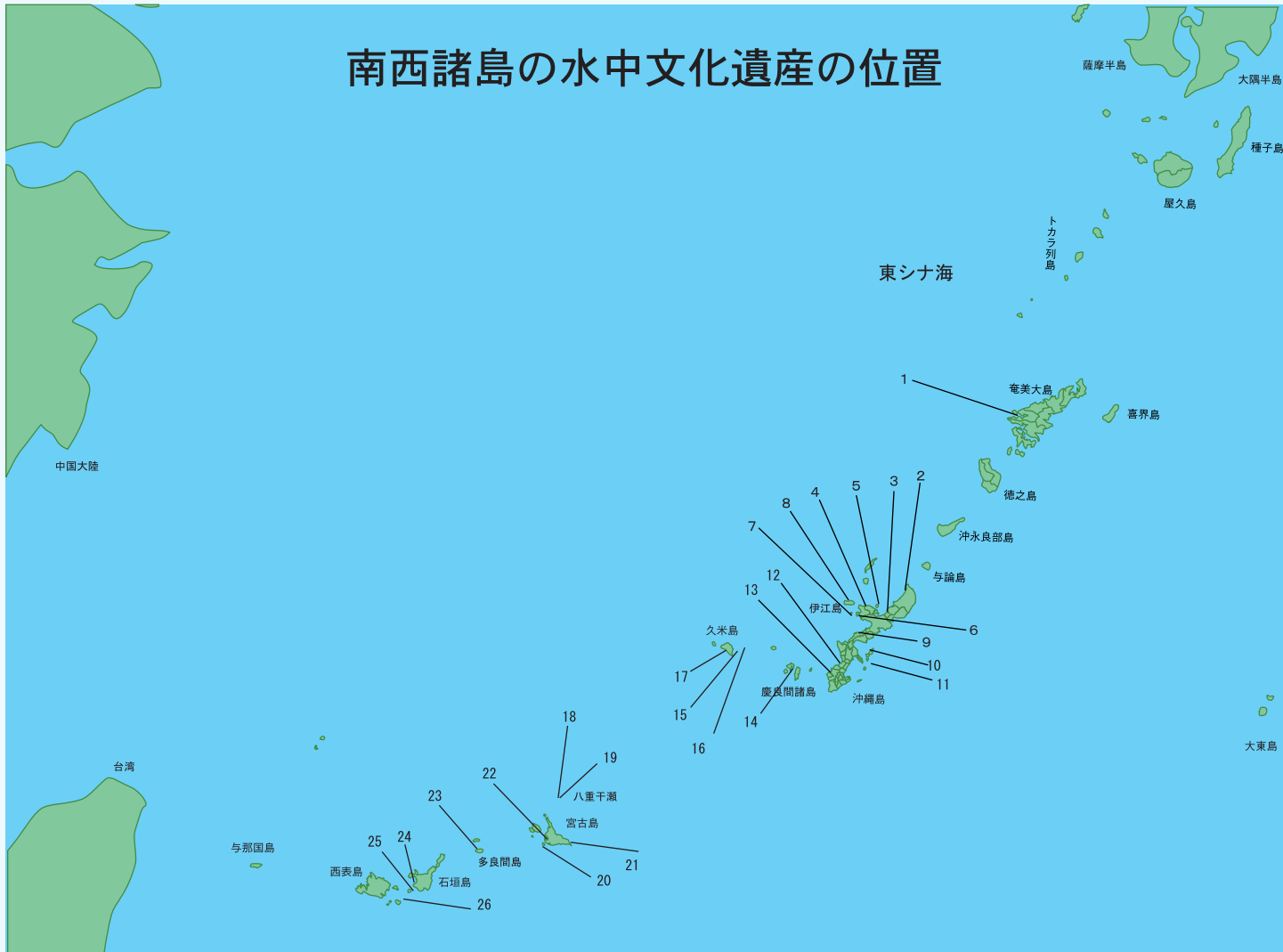
碇は海上に停泊する船体を安定させるために海底に打ち込まれます。しかしなんらかの事情でその碇がそのまま船に引き揚げ上げられずに海底に残されることがあります。



長間浜海岸(来間島)

■海岸に漂着する遺物

長間浜海岸。波の力によって海から漂着する遺物もあります。どのような理由で漂着するのか。つきとめる必要があります。



No.	遺跡(仮称)	所在地	主な遺物	時期	性格
1	久米島沖海底遺跡	宇検村	龍泉茶葉・同安茶葉青磁、襦袢陶器	12世紀後半～13世紀前半	貿易船積荷
2	吉野島沖海底遺跡	吉野村	清瀬磁器、金剛製磁、石材、鉄塊	1974年以降	異国船積荷
3	カウチカウチ海底遺跡	大宜見村	龍泉茶葉青磁	15世紀	港
4	今泊沖海底遺跡	今泊村	龍泉茶葉青磁、襦袢陶器	グスク時代～近世・近代	港
5	エモンズ	今泊村	船体	WWII	米軍艦
6	瀬底島東岸沖海底遺跡	本部町	龍泉茶葉青磁、磁石、沖繩産陶器	グスク時代～近世・近代	港
7	水納島南岸沖海底遺跡	本部町	中国・タイ襦袢陶器	14世紀～15世紀	貿易船積荷
8	藤地海岸沖海底遺跡	伊江村	龍泉茶葉青磁、景徳鎮青花、襦袢陶器	15世紀後半	貿易船積荷
9	宮古川河口遺物散布地	宮古市	龍泉茶葉青磁	近代	港
10	伊計グスク沖海底遺跡	うるま市	龍泉茶葉青磁	グスク時代～近世・近代	港
11	南湾原島沖海底遺跡	うるま市	船体・ガラス製品、金属製品、清瀬磁器	近代	異国船残骸・積荷
12	インディアアーク号の座礁地	北谷町	清瀬磁器、金属製品、バラスト石	1849年以降	異国船残骸・積荷
13	鹿瀬遺跡	那覇市	龍泉茶葉青磁	14世紀後半～15世紀	港
14	阿護の浦海底遺跡	座間味村	龍泉茶葉青磁	15世紀	貿易船積荷
15	東風武島沖海底遺跡	久米島町	龍泉茶葉青磁	近代	ヤンバル船積荷
16	ナカの浜沖海底遺跡	久米島町	龍泉茶葉青磁、同安茶葉青磁	14世紀後半～15世紀前半	貿易船積荷
17	白濁川河口遺物散布地	久米島町	龍泉茶葉青磁、白磁、漆目	16世紀後半～17世紀前半	貿易船積荷
18	プロビデンス号の座礁地	宮古島市	船体残骸、ガラス製品、磁器、金属製品	1797年以降	異国船残骸・積荷
19	八重干瀬沖海底遺跡	宮古島市	清瀬磁器	近代	ヤンバル船積荷
20	東風武島南岸沖海底遺跡	宮古島市	景徳鎮青花、龍泉茶葉青磁、襦袢陶器	16世紀前半	貿易船積荷
21	吉野海岸沖海底遺跡	宮古島市	石材(花崗岩?)、高麗	1853年以降	異国船積荷
22	吉野海岸沖海底遺跡	宮古島市	清瀬磁器、沖繩産陶器	近代	異国船積荷
23	宮古川河口遺物散布地	宮古島市	清瀬磁器、金剛製磁、石材	1857年以降	港
24	名瀬シタタル遺跡	石垣市	龍泉茶葉青磁、白磁、襦袢陶器	15世紀中	貿易船積荷
25	竹富島東岸沖海底遺跡	竹富町	沖繩産陶器、清瀬磁器	18世紀後半～19世紀前半	ヤンバル船積荷
26	八重干瀬沖海底遺跡	竹富町	沖繩産陶器、船体一部	19世紀後半	ヤンバル船積荷

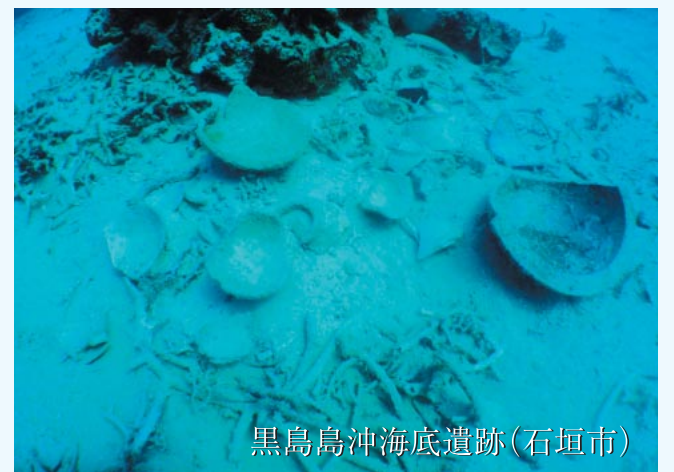
No.	遺物	所在地	発見場所	時期	備考
a	磁石×2(1A類)	宇検村	宇検村 民家	グスク時代	
b	磁石(2類)	宇検村	宇検村 民家	?	
c	磁石(1A類)	奄美市	?	グスク時代	
d	磁石(1A類)	奄美市	奄美市 民家	グスク時代	
e	磁石(1C類)	住用村	龍郷町 イカリ浜沖	グスク時代	
f	磁石(1C類)	龍郷町	龍郷町 イカリ浜沖	グスク時代	
g	鉄製品	知名町	知名町 ウジ浜沖	近代(1890年)	英国シー・トループ号関係
h	鉄塊	国頭村	国頭村 宜名真沖	近代(1874年)	宜名真沖海底遺跡関係
i	石材	国頭村	国頭村 宜名真沖	近代(1874年)	宜名真沖海底遺跡関係
j	石材	大宜見村	国頭村 宜名真沖	近代(1874年)	宜名真沖海底遺跡関係
k	磁石(1A)	名護市	久米島町 眞謝集落	グスク時代	
l	磁石(2類)	西原町	瀬底島東岸(アンチ浜)沖海底?	?	瀬底島東岸沖海底遺跡関係
m	磁石(1A)	恩納村	恩納村 山田グスク	グスク時代	
n	磁石(2類)	うるま市	うるま市 民家	?	
o	磁石(2類)	糸満市	糸満市 道路	グスク時代	
p	磁石(1A)	久米島町	久米島町 宇江グスク	グスク時代	
q	石材(花崗岩?)	宮古島市	宮古島市 民家	近世(1853年)	吉野海岸沖海底遺跡関係
r	磁石	宮古島市	宮古島市 公民館	近代(1873年)	伝 独ロベルトソン号関係
s	鉄製品×2	宮古島市	宮古島市 公民館	近代(1797年)	伝 英プロビデンス号関係
t	鉄塊	多良間村	高田海岸沖	近代(1857年)	伝 蘭ファン・ボッセ号関係
u	陶磁器等	多良間村	高田海岸沖	近代(1857年)	伝 蘭ファン・ボッセ号関係



来間島沖海底(宮古島市)

■琉球王国時代の貿易

宮古島市来間島沖の海底。琉球王国時代の盛んな貿易を示すものです。この陶磁器はいったいどこへ運ばれる予定だったのでしょうか。



黒島島沖海底遺跡(石垣市)

■ヤンバル船による沖繩産陶器の流通

かつて島々を往来していた小舟の中には不時の事故で沈んだものもあったと考えられます。積荷を載せたまま沈んだ船が海底から発見されることもあります。